

こ ほ こ しゃ かた
お子さまと保護者の方へ



しん が た
新型コロナワクチン
コミナティを接種される

こ ほ こ しゃ かた
お子さまと保護者の方へ

かあ どう ひと いっしょ
お母さん、お父さん、おうちの人と一緒に
せつめいしょ よ し
この説明書を読んで、ワクチンのことを知っておきましょう。

保護者の方へ：保護者の方もお子さまと一緒に5～11歳のお子さま向けページ
(2～5ページ)をご確認ください。

たい しょう ねん れい 対 象 年 齢	せい こ かげつ さい 生後6ヵ月～11歳
たいしょう 対象ワクチン い か ほん (以下、本ワクチン)	• コミナティRTU筋注5～11歳用1人用 (以下、オミクロン株(LP.8.1)対応ワクチン(5～11歳用)) • コミナティ筋注6ヵ月～4歳用3人用 (以下、オミクロン株(LP.8.1)対応ワクチン(6ヵ月～4歳用))

こちらのご案内は生後6ヵ月～11歳のお子さまへ向けたオミクロン株(LP.8.1)対応ワクチンの情報を
まとめています。

12歳以上の方に関する情報は、「コミナティを接種される方とご家族へ」をご確認ください。

新型コロナウイルス感染症の予防や副反応について得られている情報は限られています。本ワクチンの
接種を受ける前に、接種担当の医師等から本ワクチンの説明を受けてください。

※：5～11歳のお子さまを対象とした情報は水色を、生後6ヵ月～4歳のお子さまを対象とした情報は黄色を基調として作成し、
色調で対象年齢を判別できるようにしております。

【5～11歳のみなさんへ】

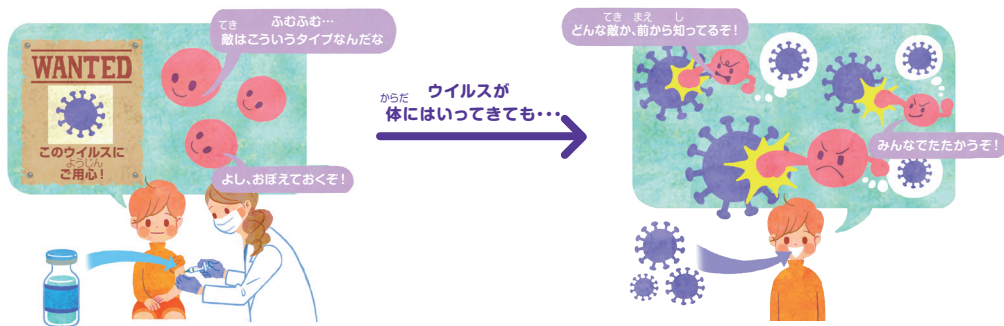
新型^{しん がた}コロナワクチン^うってどんなワクチン？

新型^{しん がた}コロナワクチン^うを受けるの？

新型^{しん がた}コロナワクチン^うを受けることで、ウイルス^{からだ}が体^{しん がた}にはいつてきても新型^{しん がた}コロナの症状^{しょうじょう}が出^でにくくなります。

新型^{しん がた}コロナワクチン^うにはどんな効^きき目^めがあるの？

もともと私^{わたし}たちの体^{からだ}には、ウイルス^{てき}がはいつてきたときに、どんな敵^{しん がた}かを覚えておいて、次^{つぎ}にはいつてきたら、すぐ^{し く}にたたかうことができる仕組み^{しん がた}があります。新型^{しん がた}コロナワクチン^うはこの仕組み^{しん がた}を利用^{りよう}したものです。ワクチン^{しん がた}にはウイルス^{しん がた}の情報^{じょうほう}がはいつています。その情報^{じょうほう}を使って、私^{わたし}たちの体^{からだ}は最初^{さいしょ}からウイルス^{てき}がどんな敵^{しん がた}かを知^しっていて、すぐ^{し く}にたたかうことができる仕組み^{しん がた}を準備^{じゅんび}することができます。この仕組み^{しん がた}によって、ウイルス^{てき}が体^{からだ}にはいつてきても新型^{しん がた}コロナの症状^{しょうじょう}が出^でにくくなります。ウイルス^{しん がた}は次第^{しだい}に姿^{すがた}を変^かえることがあります(変異^{へんい}といひます)が、変異^{へんい}したウイルス^{しん がた}の情報^{じょうほう}がはいつたワクチン^うを受けることで、同じ^{おな}ようにたたかう仕組み^{しん がた}を準備^{じゅんび}することができます。



新型^{しん がた}コロナワクチン^うはいつ受^うけるの？

- オミクロン株^{かぶ}(LP.8.1)対^{たい}応^{おう}ワクチン^う(5～11歳^{さい}用^{よう})は1回^{かい}接^{せつ}種^{しゅ}です。5歳^{さい}以上^{いじょう}のみなさんは、通常^{つうじょう}前^{ぜん}回^{かい}ワクチン^うを受^うけた日^ひから少^{すくなくとも}3カ月^{かげつ}あけて、ワクチン^うを受^うけることができます。
- 新型^{しん がた}コロナワクチン^うを受^うけたことがない人^{ひと}は、およそ4週^{しゅうかん}あけて、2回^{かい}目^めのワクチン^うを受^うけることができます。

【5～11歳のみなさんへ】

新型コロナワクチンってどんなワクチン？

新型コロナワクチンを受けるとき、
どんなことに気をつければいいの？

受ける前に気をつけること

体温が37.5℃以上あるときは、通常ワクチンを受けることはできません。
いつもと体の調子がちがうと思ったら、お母さん、お父さん、周りの大人の人に伝えましょう。

受けた後に守ってほしいこと

しばらくは
すわって
ま
ゆっくり待つ



ワクチンを受けた後はすぐに帰らずに、イスにすわってしばらくはゆっくり待ちましょう。
何か気になることがあれば、お母さん、お父さん、周りの大人の人に伝えましょう。

注射した
部分は
さわらない



さわったりこすったりしないようにしましょう。お風呂にはいってもいいですが、ワクチンを注射した部分はゴシゴシ洗わないようにしましょう。

ゆっくり
過ごす



ワクチンを受けた日はいつもどおりに過ごしても大丈夫ですが、はげしい運動はやめましょう。いつもと体の調子がちがうと思ったら、お母さん、お父さん、周りの大人の人に伝えましょう。

ワクチンを受けた後、手足の先がピリピリする、手足に力がいらないといったことがあれば、お母さん、お父さん、周りの大人の人にすぐに知らせましょう。

4ページにも気をつけてほしいことが書いてあります。このページとあわせて読んでおきましょう。

【5～11歳のみなさんへ】 ワクチンを受けた後に出るかもしれない症状

受けた後に出るかもしれない重い症状

どのくらいの人にこのような症状が出るかはわかっていませんが、ワクチンを受けた後に重い症状が出る場合があります。重い症状は、ワクチンを受けた後すぐに出るものと、すぐには出ないものがあります。

●すぐに出るもの（アナフィラキシーといいます）

- ☐ ひふのかゆみ、赤み、赤いぶつぶつ など
- ☐ おなかの痛み、吐き気、気持ちが悪い など
- ☐ 目が見えにくい
- ☐ せき、のどのかゆみ、息がしにくい など
- ☐ ふらふらする、体に力はいらない など

症状が出る場合、受けた後30分以内が多いといわれていて、受けてすぐに出ることもあります。注射した後はすぐには帰らずに、病院でしばらくゆっくりしましょう。

●すぐには出ないもの（心筋炎、心膜炎といいます）

- ☐ むねがズキズキする・ドキドキする、手足や顔がぷっくりする、体が重い・だるい、息がしにくい、ゼーゼーする、ハアハアする

受けた後に出るかもしれない症状

ワクチンを受けた人の20人に1人以上に、次のような症状が出るといわれています。

- ☐ ワクチンを注射した部分の痛み、赤み、はれ
- ☐ 頭が痛い
- ☐ げり（おなかがごろごろする）
- ☐ 体が痛い
- ☐ 体が重い・だるい、寒気がする（ゾクゾクする）、熱が出る

「ワクチンを注射した部分の痛み」が出る場合、ワクチンを受けた日に痛みが出て、その痛みは2日間くらい続くことが多いといわれています。そのほかの症状も、数日でよくなるといわれています。

このページに書いてあるような症状が出たら、
すぐに周りの大人の人に知らせましょう。

ほかにも、体の調子に何か気になることがあったら、お母さん、お父さん、周りの大人の人にすぐに知らせることが大切です。



ワクチンを受けた後も守ってほしいこと



新型コロナワクチンを受けることで、ウイルスが体にはいつてきても

新型コロナの症状が出にくくなりますが、

絶対にウイルスが体にはいつてこなくなるというわけではありません。

ワクチンを受けた後も、必要に応じて、以下の点を心がけながら過ごすことが大切です。

3つの密(みつ)に注意

人と人との距離が近い(みっせつ)



人がたくさんいる場所
(みっしゅう)



出入口や窓が
閉まった場所
(みっぺい)

新型コロナにかからない・ うつさないためにできること

手洗い・うがい



マスクを着ける



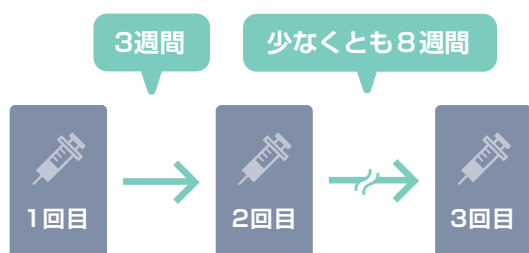
体調が悪いときは
外出・登校しない

生後6ヵ月～4歳のお子さまの保護者の方へ

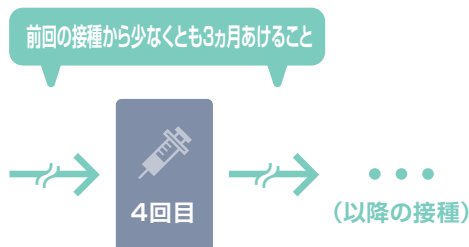
接種回数とスケジュール

- 初回免疫として新型コロナワクチンを**3回接種**する必要があります。
- 1回目の接種後、通常**3週間**の間隔で2回目の接種を、その後**少なくとも8週間経過した後**、3回目の接種を受けてください。1回目の接種から3週間、2回目の接種から8週間を超えた場合には、できる限り速やかに次回の接種を受けるようにしましょう。
- 4回目以降は、前回ワクチンを受けた日から少なくとも3ヵ月あけて、次回のワクチンを受けます。

初回免疫



追加免疫



ワクチン接種後に起こるかもしれない重い副反応(頻度不明)

ワクチン接種後(特に、接種直後～数日間)はお子さまの体調に注意しましょう。
次のような症状や、いつもと違う体調の変化や異常があれば、接種を受けた医療機関等の施設の医師、看護師またはかかりつけ医へ相談してください。

●ショック、アナフィラキシー

ワクチン接種直後から、時には5分以内、通常30分以内に以下の症状があらわれた場合、ショック、アナフィラキシーの疑いがあります。本ワクチンの接種を受けた後しばらくの間は、**接種を受けた医療機関等の施設でお待ちいただき**、これらの症状が認められた場合には、**ただちに**、接種を受けた医療機関等の施設の医師、看護師またはかかりつけ医へ相談してください。

- ☐皮膚症状：皮膚のかゆみ、じんま疹、紅斑、皮膚の発赤 など
- ☐消化器症状：腹痛、吐き気 など
- ☐視覚症状：視覚の異常
- ☐呼吸器症状：声のかすれ、くしゃみ、せき、のどのかゆみ、息苦しい など
- ☐ショック症状：蒼白、意識混濁 など

●心筋炎、心膜炎

ワクチン接種後に以下の症状があらわれた場合、心筋炎、心膜炎の疑いがあります。

- ☐胸の痛み、動悸、むくみ、息苦しい、息切れ、呼吸が荒い、呼吸が速い

これらの症状が認められた場合には、**速やかに**医師の診察を受けてください。

ワクチン接種後に起こるかもしれない副反応

(接種を受けた方の5%以上に起こったもの)

生後6ヵ月～4歳のお子さまは、ワクチンを受けた後、次のような症状が出るといわれています。

いつもと違う体調の変化、異常を認めた場合は、接種を受けた医療機関や、かかりつけ医に相談してください。

- ☐注射した部位の痛み、腫れ、発赤・紅斑
- ☐眠気、頭痛、イライラ
- ☐食欲衰退、下痢、嘔吐
- ☐筋肉痛
- ☐疲労、発熱、悪寒

【症状の発現状況、時期、持続期間など】

注射した部位の痛みの多くは接種当日にあらわれ、持続期間は約1日でした。

その他の症状の多くは接種翌日～5日ほどであらわれ、持続期間は約2日でした。

これらの症状は、通常、数日以内に治まります。

なお、病気治療中の方で解熱消炎鎮痛剤などを使用される場合は、かかりつけ医・薬剤師に服用についてご相談ください。

また、ひどい痛み・腫れ、高熱など重い症状と思われる場合は、医師の診察を受けてください。

【年齢共通】お子さまのワクチン接種に関して 保護者の方へお伝えしたいこと

本ワクチン接種にあたっての注意点

5～11歳のお子さまと、生後6ヵ月～4歳のお子さまでは、接種回数やスケジュールなどが異なりますので、ご注意ください。

(各年齢の接種回数とスケジュールは2ページ、6ページに記載しておりますので、併せてご確認ください。)

■原則として、生後6ヵ月～4歳のお子さまは、1回目に接種したワクチンと同じワクチンを2回目および3回目も接種してください。

例：1回目にオミクロン株(LP.8.1)対応ワクチン(6ヵ月～4歳用)を接種した場合は、2回目および3回目もオミクロン株(LP.8.1)対応ワクチン(6ヵ月～4歳用)を接種。

■1回の接種における有効成分の含量は、5～11歳のお子さまは12歳以上の方の3分の1、生後6ヵ月～4歳のお子さまは12歳以上の方の10分の1です。

■5～11歳のお子さまと生後6ヵ月～4歳のお子さまは、定期接種*の対象ではなく任意接種となります。(※定期接種：予防接種法に基づき、国や自治体が主体となって行う接種。)

■過去に他社の新型コロナワクチンを接種した方が、本ワクチンを接種した際の有効性・安全性はわかっていません。

本ワクチンの接種が受けられないお子さま

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。

該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- ①明らかに発熱している方
- ②重い急性疾患にかかっている方
- ③本ワクチンの成分に対し重度の過敏症の既往歴のある方
- ④上記以外で、予防接種を受けることが不適當な状態にある方

本ワクチンの接種にあたって注意が必要となるお子さま

下記にあてはまる方は、本ワクチンの接種について注意が必要です。
該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- ① 抗凝固療法を受けている方、血小板減少症または凝固障害のある方
- ② 過去に免疫不全の診断を受けた方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ③ 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある方
- ④ 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状が出た方
- ⑤ 過去にけいれんを起こしたことがある方
- ⑥ 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある方
- ⑦ 腎機能障害のある方
- ⑧ 肝機能障害のある方

生後6ヵ月未満のお子さまに対する有効性・安全性はわかりません。

保護者の同意について

お子さまの本ワクチン接種に際しては、**保護者の方の同意・立ち会いが必要です。**

予診の際に本ワクチンの有効性・安全性、本ワクチン接種後の副反応および医薬品副作用被害救済制度について説明を受けた後に、接種の実施について文書（予診票）による同意が必要となります。

なお、本ワクチンと**他の定期接種のワクチンとの接種間隔**などについては**医師へご相談**ください。小児の予防接種記録は母子健康手帳で管理しているため、接種の際には**母子健康手帳の持参**をお願いします。

立ち合いに際してのお願い

適宜、お子さまへ声掛けを行い、お子さまが注射針をみないようにするなど、不安や緊張を和らげるような対応をお願いします。

本ワクチン接種の前に気をつけること

下記の点へのご対応をお願いします。

- ☐ お子さまに基礎疾患があるなど、本ワクチン接種についての疑問や不安があったら、接種医やかかりつけ医に納得がいくまで質問する
- ☐ 体温測定やその他、お子さまの体調に変化がないかどうか確認する
- ☐ アレルギー疾患や他の医薬品でアレルギー反応の経験がある、食物アレルギーがある場合は、「何」に対して「どのような」症状が出たのかを伝える
- ☐ お子さまが普段から注射針や痛みに対して不安感が強いかどうかを伝える
- ☐ お子さまが今回のワクチン接種に不安を覚えていたり緊張しているかどうかを伝える

本ワクチン接種の後に気をつけること

本ワクチン接種後(特に、接種直後～数日間)はお子さまの体調に変化がないか注意してください。

3～7ページや、下記に示す症状や訴えがないか、お子さまの様子を観察をお願いします。

本ワクチン接種直後に気をつけること

●血管迷走神経反射

特に緊張の強いお子さまや、以前に採血やワクチン接種の時に気分が悪くなったことのあるお子さまは要注意です。事前に接種医に相談しましょう。以下の症状が認められた場合には、慌てずに、頭などを打たないように体を支え、**お子さまの体を横にして**安静にしてください。

- ☐ 冷や汗をかく
- ☐ 落ち着きがなくなる
- ☐ ムカムカする
- ☐ 寒気がする
- ☐ 顔色が悪くなる
- ☐ 目の前が真っ白または真っ黒になる
- ☐ 耳が聞こえづらくなる
- ☐ 意識が朦朧とする・なくなる など

●アナフィラキシー

ワクチン接種直後から、時には5分以内、通常30分以内にあらわれることがあります。

何かあった場合にすぐに対応できるよう、医療機関等の施設内にお子さまと一緒にいて、お子さまの様子を観察をお願いします。

「アナフィラキシー」の可能性がある症状(4ページおよび7ページ参照)が認められる、またはお子さまからそのような症状の訴えがあった場合は、速やかに医師や看護師等に伝えて診察を受けてください。

本ワクチン接種日以降に気をつけること

●本ワクチン接種後に以下の症状があらわれた場合、心筋炎、心膜炎の疑いがあります。

心筋炎・心膜炎の症状

胸の痛み、動悸、むくみ、倦怠感、息苦しい、息切れ、呼吸が荒い、呼吸が速い

これらの症状がお子さまに認められる、またはお子さまからこれらの症状の訴えがあった場合には、速やかに医師の診察を受けてください。

●本ワクチン接種後に以下の症状があらわれた場合、ギラン・バレー症候群の疑いがあります。

ギラン・バレー症候群の症状

歩行時につまずく、階段を昇れない、手足(特に足)に力が入らない、物がつかみにくい、手足がしびれる、手足の感覚が鈍くなる、顔の筋肉が麻痺する、食べ物が飲み込みにくい、呼吸が苦しいなど

これらの症状がお子さまに認められる、またはお子さまからこれらの症状の訴えがあった場合には、ただちに医師等にご相談ください。

- ☐ 歩行時につまづく
- ☐ 階段を上れない
- ☐ 手足(特に足)に力が入らない
- ☐ 物がつかみにくい
- ☐ 手足がしびれる
- ☐ 手足の感覚が鈍くなる
- ☐ 顔の筋肉が麻痺する
- ☐ 食べ物が飲み込みにくい
- ☐ 呼吸が苦しい など

本ワクチン接種を受けた後の過ごし方

- 本ワクチン接種後も基本的な感染予防対策(マスク着用※、密集、密接および密閉の回避、手洗いや咳エチケット等)を必要に応じて行なってください。ただし、過度な対策がかえってお子さまの心身の健康を損ねることがないように配慮してください。

※厚生労働省のマスク着用の考え方では、2歳未満のお子さまのマスク着用は推奨されていません。
2歳以上の就学前のお子さまについても、マスクの着用は一律には求められておりません。
マスクを着用する場合は、お子さまの体調に十分注意した上で着用してください。

- 注射した部位は清潔に保つようにしましょう。
- 接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部位はこすらないようにしましょう。ただし、ワクチンを接種した当日を含め、ワクチン接種後に体調が悪い時は、入浴を控えることも検討してください。
- 接種当日の激しい運動は控えましょう。

保護者の方のワクチン接種のご検討のお願い

- 新型コロナワクチンは新型コロナウイルス感染症の発症予防効果が臨床試験で確認されています。
- ワクチン接種後においても、基本的な感染予防対策※を必要に応じて行うことを、お子さまへもお伝えください。

※具体例は本資料の5ページに記載していますので、ご確認ください。

よくある質問

ワクチンの効果と仕組み

Q1. ワクチンの効果はどのくらいありますか？

A1.

本ワクチンは、5～11歳の小児において、オミクロン株(LP.8.1)に対し、中和抗体価の上昇や発症予防効果が期待されています。また、生後6ヵ月～4歳の乳幼児においても、オミクロン株(LP.8.1)に対し、中和抗体価の上昇や発症予防効果が期待されています。本ワクチンの臨床試験は国内外で実施中または計画中であり、最新情報は、厚生労働省 (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html)、日本小児科学会のホームページ (<https://www.jpeds.or.jp/>) をご確認ください。

Q2. オミクロン株(LP.8.1)対応ワクチンとは何ですか？

A2.

新型コロナウイルス変異株である、オミクロン株(LP.8.1)に対応したワクチンです。オミクロン株(LP.8.1)のヒトへの感染に関わるタンパク質のmRNAが含まれており、新型コロナウイルス感染症の予防を効能・効果として承認を受けています。

Q3. なぜ生後6ヵ月～4歳の初回免疫では、3回の接種が必要なのですか？

A3.

本ワクチンは、生後6ヵ月～4歳の乳幼児において初回免疫の3回目接種後1ヵ月の時点で、16～25歳の接種者と同程度の新型コロナワクチンに対する中和抗体価を示すことが確認されたため、3回接種の用法で承認されています。

中和抗体：ウイルスの感染力または毒素の活性を中和できる抗体

ワクチンの安全性と副反応

Q4. ウイルスのタンパク質を作る基になる遺伝情報を体に投与すると、将来の身体への異変は心配ありませんか？

A4.

メッセンジャーRNA(mRNA)は、数分から数日といった時間の経過とともに分解されていきます。また、mRNAは、人の遺伝情報(DNA)に組み込まれるものではありません。体の中で、DNAからmRNAが作られる仕組みがありますが、情報の流れは一方通行で、逆にmRNAからはDNAは作られません。こうしたことから、mRNAを注射することで、その情報が長期に残ったり、遺伝情報に取り込まれることはないと考えられています。

Q5.

ワクチン接種後に発熱しました。どのように対応したらいいのでしょうか？

A5.

ワクチン接種後の発熱に対しては、日本小児科学会より、成人の場合と同様に発熱の程度に応じて解熱消炎鎮痛剤を使用できることが示されています。ただし、小児には推奨されない解熱消炎鎮痛剤もありますので注意してください。ご不安な場合は、かかりつけ医にご相談ください。

ワクチンの接種対象

Q6.

過去に他のワクチンや医薬品、食品、化粧品に対してアレルギー反応があったのですが、本ワクチンを接種しても問題ないですか？

A6.

予診票にアレルギーの情報(何に対してどのような症状が出たのか)をできる限り記載の上、事前にかかりつけ医に相談するか、もしくは接種当日、医師にご相談ください。

Q7.

生後6ヵ月未満でも本ワクチンを接種できますか？

A7.

本ワクチンの接種対象は生後6ヵ月以上の方です。なお、生後6ヵ月未満の方に対する有効性・安全性はわかっていません。

Q8.

過去に熱性けいれんを起こしたことがあったのですが、本ワクチンを接種しても問題ないですか？

A8.

本ワクチンは、熱性けいれんを起こしたことのある方は接種要注意者になります。事前にかかりつけ医に相談するか、もしくは接種当日、医師にご相談ください。

接種を受ける方法

Q9.

生後6ヵ月～4歳で、初回接種の規定の回数を終える前に、対象年齢を超えて誕生日を迎えました。どうしたらよいのでしょうか？

A9.

初回接種の規定の回数を終える前に途中で対象年齢を超えて誕生日を迎えた場合であっても、原則として同じワクチンを接種する必要があります。生後6ヵ月～4歳を対象としたファイザー社のオミクロン株対応1価ワクチン(LP.8.1)の初回接種は合計3回で1セットであり、途中で5歳の誕生日を迎えた場合も、3回目までの接種は同じ生後6ヵ月～4歳用のワクチンを接種します。

(参考)厚生労働省「新型コロナワクチンQ&A」(2024年3月時点)：
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_qa_archive.html#infant_8

Q10.

生後6ヵ月～4歳で、2回目接種から8週間経過する前に3回目の接種を受けてもいいですか？

A10.

生後6ヵ月～4歳のお子さまは、2回目の接種から少なくとも8週間経過した後に、3回目の接種を受けてください。

Q11.

新型コロナワクチンと、他のワクチンの接種を同時に受けることはできますか？

A11.

新型コロナワクチンと他のワクチンとの同時接種については、特に医師が必要と認めた場合に可能です。また、他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

(参考)厚生労働省「新型コロナワクチンQ&A」：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_qa.html#4

その他

Q12.

ワクチン接種時に必要なものはありますか？

A12.

お子さまのワクチン接種では、原則、保護者の同伴が必要となります。また、お子さまの接種履歴は母子健康手帳で管理しているため、接種当日は可能な限り、母子健康手帳の持参をお願いします。特に小さいお子さまは不安から怖がって接種を拒んだり、泣いたりすることが予想されます。可能であれば気を紛らわすようなお気に入りのおもちゃや絵本などの持参をお願いします。

Q13.

小児や乳幼児で、ワクチンを接種する部位は変わりますか？

A13.

1歳未満のお子さまは、太もも外側に接種します。1～2歳のお子さまは、太もも外側もしくは肩(三角筋)に接種します。3歳以上のお子さまは、肩(三角筋)に接種します。ただし、明らかに筋肉量が少ない場合などは、年齢に関係なく太もも外側に接種することもあります。

Q14.

ワクチン接種を受けた後に健康被害が生じた場合、救済制度はありますか？

A14.

2024年3月31日までの特例臨時接種枠で接種した方に健康被害が生じた場合は、予防接種健康被害救済制度が適用となります。

また、2024年4月1日以降にワクチンの接種による健康被害が生じた場合には、医薬品副作用被害救済制度がございますので、医薬品医療機器総合機構にご相談ください。



独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)：
医薬品副作用被害救済制度

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/

本ワクチンに関するさらなる情報について

ワクチン接種の考え方について

新型コロナウイルスは変異を繰り返しており、それに伴い重症化率やワクチンの予防効果などにも変化が生じています。小児における最新情報は厚生労働省、日本小児科学会のホームページをご確認ください。

厚生労働省「新型コロナワクチンについて」：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_00184.html

日本小児科学会：

<https://www.jpeds.or.jp/>

情報提供サイトのご案内

本ワクチンに関する情報について、「ファイザー新型コロナワクチンの接種を受ける方とご家族や保護者の方々のためのサイト」にて公開しております。

同サイトでは、12歳以上の方に関する情報をまとめた「コミナティを接種される方とご家族へ」もご覧いただくことができます。



左の二次元コードもしくは
下記URLよりアクセスし、ご参照ください。

<https://www.pfizer-covid19-vaccinated.jp>

BIONTECH



製造販売元：ファイザー株式会社

新型コロナワクチン コミナティは、ビオンテック独自のmRNA技術を基にビオンテックとファイザーにより共同開発された修飾ヌクレオシドmRNAワクチンです。